

◆中学校道徳教科書は「愛国主義的」教科書が2種類

今年の夏に採択される中学校道徳教科書は8社から出ています。中学校道徳教科書を発行すると言っていた日本教育再生機構は、社会科のように育鵬社（フジ・産経グループ）からは発行できず、「日本教科書株式会社」から発行しました。これによって、「愛国主義的」道徳教科書は、貝塚茂樹氏ら日本会議のブレーンと見られる人物たちが作った教育出版の中学校道徳教科書と、「日本教科書株式会社」の中学校道徳教科書の2種類になりました。

◆「日本教科書株式会社」はヘイトスピーチ本を出している晋遊舎の事実上の子会社
「日本教科書株式会社」は日本教育再生機構の理事長である八木秀次氏が代表になって作られた会社です（2017年9月1日に武田義輝氏に交代）。現在、「日本教科書株式会社」は東京の晋遊舎ビルの一角にあります。代表の武田義輝氏は晋遊舎の会長でもあり、両社は事実上一体の会社です。晋遊舎は2005年から『嫌韓流』などいわゆる「嫌韓本」を多数出し、韓国・朝鮮人や中国人へのヘイトスピーチをまき散らしてきました。また児童のセクハラ漫画も多数出してきました。このような人権侵害の出版物を出している出版社が、名前だけ変えて「道徳」教科書を出すなど悪夢としか思えません。「日本教科書株式会社」のHPでは「よい教材」「よい授業」など、一見もっともらしいことが掲げられていますが、彼らに「道徳」を語る資格があるのでしょうか？

八木氏は2017年の8月の講演会で「小学校道徳教科書は期待外れ」と語っていました。そのため「日本教科書株式会社」の道徳教科書は、もっと“自己責任”“自己犠牲”“愛国心”を強調し、日本会議が求める道徳教科書になっています。そのうえ、道徳の22の徳目を習得できたか、子どもたちに項目ごとに4段階で自己評価までさせています。

◆教育出版は偉人伝が多く、外国人の口を借りて日本賛美をするのは小学校道徳教科書と同じです。また「心かがやき度」と称して子どもたちに自己評価（3段階）させるのは日本教科書と同じです。

日本教科書も教育出版も、安倍政権が求める徳目を巧妙に刷り込み、子どもたちを「愛国兵士」に仕立てる教科書であり、絶対に採択してはならない教科書です。

◆ただちに「愛国主義」的道徳教科書採択阻止への取り組みを！

道徳はそもそも、「自己責任」「公共の精神」「愛国心」などを盛り込んだ「22の徳目」を習得することを目的としているため、どの教科書も「自己犠牲」や「日本ファースト」を強調する教材がたくさんあります。しかし、それなりに違いもあります。私たちはしっかり吟味し、より良い道徳教科書を子どもたちに手渡ししましょう！

「教育再生」と「改憲」は安倍政権・日本会議の「戦争をする国づくり」のための二本柱であり、「歴史改ざん」と「道徳教育」が安倍式「愛国兵士づくり」の両輪です。

阻止するために全国で・全力で取り組みましょう！